

令和2年度第2回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会議事要旨

1 日 時 令和2年12月13日（日）午前9時～午前10時

2 場 所 吹田市役所本庁舎高層棟4階 特別会議室

3 欠 席 なし

4 議事録（概要）

（事務局）

定刻となりましたので、第2回選定等委員会を開催いたします。本日の委員の出席状況ですが、委員全員に御出席いただいておりますので、選定等委員会規則の開会要件を満たしていることを報告します。それでは、委員長に進行をお願いします。

（委員長）

本日の案件は、東佐井寺・西山田育成室における直営指導員からのヒアリングで、それぞれの育成室の指導員に出席をしていただいています。委託事業者選定の一次審査に当たり、5段階評価で採点するうえで、直営育成室の現状、標準的な運営状況の基準となる「ふつう」のレベルについて御確認いただきたいと考えています。それでは、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

まず、配付資料の御確認をお願いいたします。なお、本委員会は、委託事業者を選定・評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員のお名前、選定事業者以外の事業者名等は公表しないものといたします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開することになりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、各育成室の指導員からのヒアリングに先立ちまして、本市の留守家庭児童育成室の状況について資料1をもとに説明をさせていただきます。本市の直営育成室の状況や、今回委託対象となる2育成室の児童数、指導員数、昨年度の実施行事などの状況をお示ししています。現在、育成室入室児童数が増加しており、今後、数年間はこの傾向が続く見込みであることから、指導員の確保が難しく、多くの育成室で欠員が生じている状況です。指導員の欠員解消の方策の一つとして運営業務の民間委託を行っており、今年度の2か所の民間委託により、計画上の12か所の委託化が完了する予定です。

それでは次に、ヒアリングについて説明をさせていただきます。指導員から各育成室の環境や保育内容などを説明させていただき、その後、質疑応答の時間を設けていますので、よろしくをお願いいたします。

(委員長)

それでは、東佐井寺育成室からヒアリングを行います。

【東佐井寺留守家庭児童育成室の特徴等を指導員から説明】

(委員長)

それでは、何か御質問がございましたらお願いします。

(委員)

保育計画、年間計画の中で、子供が進んで通い続けるための取組、具体的にどのようなものが位置付けられているのかというのが一つと、それから4名の指導員が勤務される中で、保護者の不安を取り除くというようなお話もありましたが、どうやって保護者と連携したり、学校の先生と話し合う時間をお作りになっているのかをもう少しお聞かせいただけたらと思います。

(指導員)

子供たちが楽しく通う取組として、特に子供たちの中で一番気にかけてあげないといけないのは1年生だと思います。見通しのない生活の中で、何が楽しいかというのがまだまだわからないので、とにかく子供たちに指導員の声を伝えることも大事ですけど、上の子供たちがすごく楽しみにしているという姿と一緒に1年生に伝えてあげるといって、大人の言葉だけではなく、仲間である2～4年生がこんなに楽しみにしていることは何だろうということだけでも、子供の心はグッとそれに向かっていきます。行事の中でいうと、今年は例年通りにはいきませんでした。夏は子供たちと一緒にご飯を作ったり、3・4年生が薪で火を起こす姿を見せてあげたり、自分がやるということだけではなく、誰かがやっている、身近なお兄ちゃんお姉ちゃんたちがやっている。来年自分たちもできるんだよという言葉に、そうなんだという期待を込めた生活を持てるということが、子供たちにとっての毎日の生活の楽しみであったりとか、あの頃になったら何ができるようになるんだなあということも感じ取れると思います。身近であるお兄ちゃんお姉ちゃんたちの表情であったりとか、やりとりを聞いている1年生は、それですごく楽しみを持っていてと思います。あとは毎日の生活で、先生がいて、お兄ちゃんお姉ちゃんがいて、友達と一緒に学童の仲間だというその気持ちを持っているような日々の生活をとにかく大事にするということが、今日楽しかった、明日の学童に行こうという気持ちになれると思います。

保護者との連携、学校との連携ということですが、保護者との連携は今年特に取るのがすごく難しかったです。集まることのできたのは11月になってからです。連絡帳は1年生を中心に記載するというので、2～4年生には今年度に限らず前々からですが、指導員は外で子供たちと遊びたい、たくさん遊んでたくさん心を通わせたい、ノートに指導員が向かっている間に子供は見れない。しゃべりながらノートは書けないということをと

にかく何年も伝え続けてきて、今保護者の理解も得ている状況です。何か気になることがあれば電話をします。延長保育の時間、保育でお迎えにこられた保護者と話をし、気になることをつないでいったりとか、学校の先生とは、学校の先生が落ち着いている時間は指導員が忙しい状況になっているので、放課後の5時以降に担任の先生にお話を伺いに行ったりとか、担任の先生が授業終わりに送ってきていただく時に今日の様子をお話いただいたり、管理職の先生とはお昼に昨日の件はどうなりましたかという話をさせていただいたりとか、あとは太陽の広場の連絡会で、管理職の先生にも学童の生活をお伝えして、火を使うことや活動の許可をいただくなど、そこで連携をさせていただいています。

(委員)

1年生を受け入れることに時間がかかると思います。このコロナ禍の中で、普段だったら2か月ぐらいで馴染んでくれる子供たちが、今年は大変でしたっていうのが多々あると思います。やはり子供たちのストレス、それと保護者がすごくストレスを抱えてこられたと思いますので、その辺の対応で見えない苦労があったと思いますが、いかがでしょうか。

(指導員)

1年生の保護者と子供たちの不安ということで、まず1年生は入ってきたときにマスクをつけるという環境が学校に行き始めて始まりました。幼稚園・保育園の時には多分付けるっていうのが義務づけられていない生活の中から学童に入ってきたので、マスクをつけるということ自体が1年生にとっては戸惑いがありました。保護者も感染リスクのことで不安もありました。コロナに関しては、1年生の保護者より2～4年生の保護者の方が、学童が密集して密であるということを知っているんで、不安は大きかったと思います。

(委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。それでは、西山田育成室のヒアリングを行います。

【西山田留守家庭児童育成室の特徴等を指導員から説明】

(委員長)

それでは、何か御質問がございましたらお願いします。

(委員)

子供たちの家庭的な雰囲気大切にしているということで、子供たちの様子を聞いてよかったと思います。特に気になることとか、そういった子供たちの指導員間での情報共有をお忙しい中でどう工夫されているか教えてください。

(指導員)

子供たちが帰ってくるまでの時間を有意義に使って、毎日、全部のクラスの子を全指導員が把握できるように情報共有をしています。運動場に出してしまうと、クラスも関係

なくなるので、全員が気になる子のことを見ておけるように対応しているので、保護者と話をした次の日には、必ず他の指導員にも情報共有し連携を日々とるようにしています。

(委員)

今年度、学校が授業時数確保ということで非常に放課後の時間が短くなっていますが、普段の学童での生活で特にこういう点を工夫したとか、予定を変更したとかというようなことがございましたら教えてください。

(指導員)

全員でおやつを食べるということをしているので、月曜日だけ1年生から3年生までが5時間目で帰ってくるので3時におやつを食べていますが、通常であれば3時におやつを食べるところを、火・木・金曜日は3時半のおやつという形で30分遅らせて、それまでの時間に1年生はゆったりと宿題を済ましたり、その間に読書をしたりということをしています。

(委員)

個人情報の管理をどうしているのかということと、主任指導員の役割について少しお話いただけますか。

(指導員)

個人情報に関しては、各クラスの指導員が連絡票の管理等をしています。あと、カメラのデータ等も各クラスで管理しています。学級に1人、個人情報の管理責任者を置いていて、主任指導員が担っています。各クラスに全部鍵付きのロッカーに入れているかの確認をしています。

次に主任指導員ということで、一緒に組んでいる指導員が1年目の指導員と3年目の指導員なので、今まで経験してきたことを伝えながら、子供への指導方法など気がついた点を伝えています。経験の浅い先生たちへの指導を通して子供たちが快適に過ごせるようにと取り組んでいます。

(委員長)

それでは以上で、第2回委託事業者選定等委員会を閉会します。